

---

# 別世界

岡崎 朱羽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

別世界

### 【Nコード】

N7245E

### 【作者名】

岡崎 朱羽

### 【あらすじ】

僕の世界は他人とは違うんだ…。障害を持つ者だけが力を手にできる。ギアス。それが力の名前だ。

## プロローグ（前書き）

どうも。瀬能 夏紀です。この主人公は私の分身なんです。可愛がってくださいね。半分私自身を書いているからなんですけどね。

## ブローグ

僕はこの輪の中にいていいのだろうか？僕だけなんだ…障害を抱えているのは。生れつき視力の弱い僕は…

お前には力をやろう。しかし、それには今までの人生とは違うぞ？それでも欲しければやろう。ギアスを！！

何だろう…。夢を見たんだ。力…ギアス。何なんだろうか…。ん？さつきから身体に違和感を感じる…。胸…むね！？パイ！？うそお！？ありえねえ！！まさか…。ない！？そんな…。僕は女の子になつてしまいました…。

## 力を与えた者

どうしよう！！「恵<sup>けい</sup>起きなさい！！」やばい！！ボクは天宮 恵<sup>けい</sup>。  
普通の高校一年だ。今、今世紀最大のピンチに陥っている。なんせ  
息子が娘になってるんだから。

「起きなさい！！」母さんが布団を剥がす瞬間『全く！！早くしな  
さい』と耳からではなく脳に直接聞こえた。これが力なの？ギアス  
なの？とりあえず隠しつつ…

「恵、あんたその身体どうしたの？」ばれた！！とりあえず…。

食事が済んだので自室に戻るとそこには見知らぬ美少女でも美少年  
でもなくハムスターがいた。立ってる。二足歩行で。

「おう、食事は済んだか？」ダレツス力？喋った…。

「戸籍変えるから家族呼んでこい」何これ！？ハムスターに命令さ  
れてるんですけど…。何はともあれボクは天宮 恵<sup>めぐみ</sup>となったわけだ  
が…。

「学校に行けよ！！可愛い女の子達が見たい。」変態だ…ハムスタ  
ーの分際で！！さつきから

「パンチラパンチラ」と連呼しないでいただきたい。ちなみに変態  
ハムスター、名を『ハム』という。そのまんまやねん！！

「たくよあゝ何でもめぐはペチャパイなんだよ！」叫ぶな！！気にし  
てんだから言うな！！禁句だよ！！

「そついえばギアスって何？」

「なんだ？さつきお母さんの心の声が聞こえたら？あれだ。まあ、  
違う能力を持った奴もいるけどな」違う能力？何だつて？

「障害を持った者だけがギアスを手にできるのさ。お前のは心の声  
が聞こえたり、真相も知ることが出来るんだ。あとギアス能力者は  
霊的存在も認知できるのさ。それも制限無しで。」

「ボクを女の子にした理由は？」

「偶然だね。一度もないよお前のケースはね。」軽々しく言うなあ

く！！ボクはどうなるのおく！！

めぐです。最近暑いですね。

全くだね。どうも作者の瀬能 夏紀です。

夏紀さんは夏バテですか？

ん？私はねえく年中バテてるよ。

お大事に……。では

「次回もお楽しみにい」

学校に行く。(前書き)

大変お待たせしました。

## 学校に行く。

「皆にお知らせしたいことがある！！天宮は本当は女だったらしい。家のしきたりで今まで『男装』していたそうだ。これからは女子として扱う様に」めんどくさそうに言っただこのバカ教師こと町永 美奈子。心読んでやるわ！！《ゲームしてえ〜。タバコすいてえ〜。つ〜か、仕事めんどくさい》はい、死ぬ。このバカ教師！！ニートにでもなつてしまえ！！

《かわいい女の子いっぱいじゃねえか！！萌え！！お前もかあ！！とボクはハムにツツコミの意味を込め握り潰した。（一応、ハムはハムスターのぬいぐるみなので）グエ！！と音がしたがキニシナイ「えと、天宮 恵あまみや めぐみです。本当は女の子です。これからは女子としてよろしくお願いします。」

「メグ。今日から貴女はメグよ。天宮さんじゃよそよそしいもの。皆いいよね？」

「「「さんせい」い」「」委員長の呼びかけにより、ボクは女の子としてやっていけそうだ。

「委員長…ありがとう」

「なんで皆、委員長て呼ぶのよ！！私は七海 佳奈子よ！！」

「「「委員長は委員長だから」「」

「なんで〜！！」（以後、委員長つて事で）。

学校に来てよかった。今まで以上に皆と馴染めそうだ。

家に帰って来て驚いた。父さんが早い帰宅をしていた。

「我が娘、恵！！お帰り〜」とか言いながら飛び付いて来た。

「キヤアアア！！」ボクは叫んでしまった。その声に気がついた母さんが

「あんだ、いっぺん死ぬ」と言いながら父さんを我が家の通称『お説教部屋』に連行していくのが見えた。ああ、我が家って一体…。



「今日のご馳走よ」ええ！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7245e/>

---

別世界

2010年10月9日18時30分発行